



# 高尾山御朱印ガイド

## 高尾山と薬王院の概要

- 高尾山の魅力
  - 高尾山は自然豊かな観光地であり、歴史ある薬王院が佇む霊場として多くの参拝者に親しまれている。
  - 高尾山は、四季折々の美しい風景が楽しめる場所であり、特に紅葉や桜の時期には多くの観光客が訪れる。
  - 霊場としての歴史も深く、奈良時代から信仰の対象とされてきた。
- 薬王院の役割
  - 薬王院は744年に行基菩薩によって創建され、関東を代表する修験道の中心地として発展。
  - 参拝者は、仏教と神道が融合した独特の信仰体験を得ることができる。
  - 御本尊である飯縄大権現は、厄除けや病氣平癒、開運招福のご利益があるとされている。

## 高尾山御朱印の基本情報

- 御朱印の種類と値段
  - 高尾山で受け取れる御朱印には、基本の御朱印、特別御朱印、季節限定御朱印がある。
  - 基本の御朱印は300円で、飯縄大権現や不動尊の御朱印が含まれる。
  - 特別御朱印は1,200円前後で、記念行事に合わせたデザインが人気。
- 御朱印の受け取り場所と時間
  - 御朱印は薬王院の「御護摩受付所」で受け取ることができる。
  - 受付時間は毎日8時30分から16時までで、混雑時には待ち時間が発生することがある。
  - 受付時間外や悪天候時には御朱印を受け取れないため、事前に確認が必要。

## 御朱印の形式と選び方

- 直書きと手書き差し替えの違い
  - 直書きは、参拝者の御朱印帳にその場で直接記帳してもらう形式で、特別感がある。
  - 手書き差し替え（書置き）は、あらかじめ用意された和紙に御朱印が記されており、時間をかけずに受け取れる。
  - 直書きは混雑時に待ち時間が発生することがあるため、スケジュールに応じて選ぶと良い。
- どちらを選ぶべきか
  - 直書きは、記帳の瞬間を体験したい方におすすめ。
  - 手書き差し替えは、スケジュールに余裕がない場合や混雑時に効率よく受け取りたい方に向いている。
  - どちらも御朱印としての価値に差はないため、状況に応じて選ぶことが重要。

## 季節ごとの御朱印と楽しみ方

- 春の御朱印
  - 春には桜をテーマにした御朱印が人気で、淡いピンク色のデザインが特徴。
  - 薬王院周辺の桜が見頃を迎え、多くの参拝者が訪れる。
  - 春の御朱印は、特別な思い出として記念に残る。
- 夏の御朱印
  - 夏には青もみじをモチーフにした御朱印が登場し、涼しげな緑を基調としたデザイン。
  - 水行の場である琵琶滝も注目され、自然のエネルギーを感じる参拝ができる。
  - 夏の御朱印は、暑い日でも清涼感を与えてくれる。
- 秋の御朱印
  - 秋の高尾山は紅葉狩りの名所で、赤や黄色に色づいた紅葉をテーマにした御朱印が用意される。
  - この時期は観光客が最も多く訪れるため、早めの時間に参拝することが推奨される。
  - 秋の御朱印は、自然の美しさを感じられる特別なもの。
- 冬の御朱印
  - 冬には新年を祝う限定御朱印が登場し、特別なデザインが用意されることが多い。
  - 元旦や初詣シーズンには、新年の祈願が込められた御朱印が受け取れる。
  - 冬の静寂な雰囲気の中での参拝は、特別な体験となる。

## まとめ

- 高尾山御朱印は薬王院で受け取れる。
- 基本御朱印は飯縄大権現や不動尊のものがある。
- 受付時間は8時30分から16時まで。
- 混雑時には待ち時間が発生することがある。
- 直書きと手書き差し替えの形式が選べる。
- 季節限定の御朱印はデザインが魅力的。
- 特別御朱印は記念行事に合わせて配布される。
- 御朱印の値段は300円から1,200円程度。
- オリジナル御朱印帳は薬王院で購入可能。
- 書置きの御朱印は御朱印帳を忘れた場合に便利。
- 御護摩受付所で記念品も購入できる。
- 琵琶滝では限定の御朱印が受け取れる。
- 御朱印巡りは参拝ルートに組み込むのがおすすめ。
- 期間限定御朱印は事前情報の確認が重要。

## 期間限定御朱印の情報

- 期間限定御朱印の内容
  - 期間限定の御朱印は特定のイベントや記念行事にちなんだデザインが施される。
  - 季節感が反映されたデザインが人気で、特別な思い出として記念に残る。
  - 2023年には弘法大師生誕1250年を記念した特別御朱印が発行された。
- 見逃さないポイント
  - 期間限定御朱印はその時期にしか手に入らないため、事前に情報を収集しておくことが重要。
  - 限定御朱印は数に限りがある場合が多いため、早めの時間に参拝することが推奨される。
  - 薬王院の公式サイトや現地での掲示を確認することで、タイミングを逃さず訪れることができる。
- 提供場所と受け取り方法
  - 期間限定の御朱印も、基本的には薬王院の御護摩受付所で受け取ることができる。
  - 一部の限定御朱印は書置き形式のみでの提供となる場合もある。
  - 受付時間は8時30分から16時までとなっているため、余裕を持って訪れることが重要。

## 御朱印帳の購入と管理

- 御朱印帳の購入場所
  - 御朱印帳は薬王院の御護摩受付所で購入できる。
  - 基本の御朱印帳は1,800円で、特別デザインのものも用意されている。
  - 季節ごとの限定デザインの御朱印帳も販売されており、訪れる時期によって異なる。
- 御朱印帳の管理方法
  - 御朱印帳を大切に保護するための専用袋も販売されている。
  - 専用袋は御朱印帳を傷や汚れから守り、持ち運びにも便利。
  - 購入時は現金払いが基本で、混雑時には列ができることがあるため、時間に余裕を持って訪れることが重要。
- 御朱印帳を忘れた場合の対応
  - 御朱印帳を忘れた場合は、書置きの御朱印を受け取ることができる。
  - 書置きの御朱印は後日、御朱印帳に貼ることで記録として残せる。
  - 現地で御朱印帳を購入することも可能で、特に高尾山ならではのデザインが人気。

## 御朱印巡りの効率的なルート

- ルートのスタート地点
  - 高尾山駅からケーブルカーまたはリフトを利用して山腹に移動する。
  - ケーブルカーは急勾配で、乗車中も美しい景色を楽しむことができる。
  - 体力を温存しながら御朱印巡りを始められる。
- 御護摩受付所での御朱印受領
  - 山門をくぐるとすぐに御護摩受付所があり、御朱印を受け取ることができる。
  - 薬王院の御本尊である飯縄大権現の御朱印や、関東三十六不動霊場の御朱印を受け取れる。
  - 混雑時には待ち時間が発生することもあるが、スムーズに進むことが多い。
- 本堂での参拝
  - 御護摩受付所で御朱印を受け取った後、本堂に進んで参拝を行う。
  - 大師堂では弘法大師に関する特別な御朱印をいただけることもある。
  - 特別御朱印は時期限定で提供されるため、事前に確認が重要。
- 琵琶滝の訪問
  - 時間に余裕があれば、琵琶滝を訪れるのも良い。
  - 琵琶滝は神聖な場所で、ここでも限定の御朱印を受け取ることができる。
  - 滝付近は足元が滑りやすいため、歩きやすい靴で訪れることが推奨される。